

特性

- ① 低温期を中心に幅広く蒔けるF₁品種。
- ② 草姿は葉先まで立つ極立性で、下葉の調整が容易なため収穫作業性が高い。
- ③ 従来市販品種よりも葉数が多い上に、株張りが良いため収量性が高い。
- ④ 厳寒期でも尻部が張り過ぎることがなく、スタイルのよい荷姿となる。
- ⑤ 低温乾燥によるカッピング症状は少なく、葉肉が厚いため重量感がある。
- ⑥ 萎黄病に対して強い耐病性を持つ。

規格:

小袋

20m²袋

2d²缶

第61回全日本野菜品種審査会1等特別賞受賞



春 秋 冬

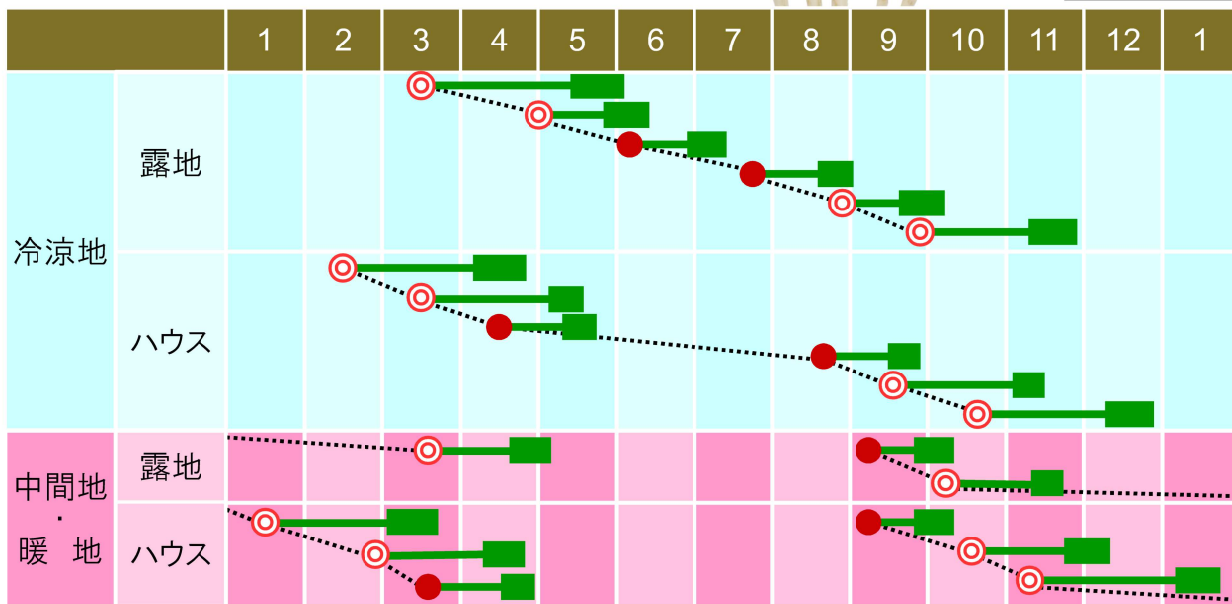
栽培のポイント

- ① 白さび病に対しては強い耐病性を有していないので降雨が多い時期は予め殺菌剤で予防する。
- ② 高温期の栽培は株間、条間を十分にとり、風通しや採光性を良くして軟弱徒長を防ぐ。

栽培の目安

【株間・条間の目安】

	条 間	株 間
春・秋	12~15 cm	5 cm
夏	12~15 cm	5~7 cm
冬	10~12 cm	3~5 cm



◎ 最適播種 ● 播種 — 生育 ■ 収穫

※ 作型表はあくまでも目安です。実際には貴地の気候に応じて栽培して下さい。

※ 収穫物の写真は、実際に収穫される野菜が写真のように完全に再現されることを保証するものではありません。

メモ